

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 3月 6日				
事業所名		公表日 2025年 3月 6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14		・車いすの台数や子供の人数に対して工夫しスペースを確保している ・車いすの置き場所や床にテープを貼り導線を確認している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14		1日のスケジュールや、子どもたちと意思疎通を図る時には、絵カードを活用しお互いが理解できるよう工夫している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	3	集団指導を主としているため、個別の部屋はないが、訓練室の一部にパーソナルスペースを設けている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14		朝礼や昼礼を行い、日々のサービスの振り返りを行い業務の改善に取り組んでいる	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14		定期的に面談を設けている	今年度は非常勤職員との面談時間を設けていないため、来年度は時間を設けて行きたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	9		現在は、外部評価は行っていないが今後実施の必要性を検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14		外部の研修機関を活用し隙間時間に個別で研修を受講できるように工夫している。また、興味のある研修など幅広く勉強できている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14		日々の活動の様子はホームページやInstagramなどで見る事ができる	ゲームや運動遊びなどの活動種類を増やす必要がある
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1	強度行動障害児は特に密におこなっている	口頭では子どもについて日々の話合いをするが、記録としてまでは落とし込めていない、今後の課題である
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	2	その時期に合わせた曲を取り入れたりしている音楽やダンスなど日替わりで子供たちが取り組めるよう工夫している	活動を行うスタッフが決まっており固定化される傾向が見られた為、去年より活動内容を増やして対応できるスタッフも増やしているところである

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14		集団活動が主ではあるが、個別に合わせた参加の仕方や取り組み方を工夫している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		リハビリ担当や役割分担は常勤が決定し非常勤に伝えチームとして動いている 13:00出勤の職員に対しても昼礼も行うようになった	土曜日に関しては、常勤職員が送迎業務で不在が多いため周知が行えない事もある、そのため周知方法が課題である
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	4	送迎業務等があり、その日は難しいため次の日に支援についての振り返り等を行っている 朝礼や昼礼で共有している	送迎業務や、勤務形態がバラバラなため、当日に行えないのは課題としてある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	14			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14		必要に応じて、管理者も出席をしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14		必要に応じておこなっている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14		保護者を通じて行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	1	必要に応じて見学対応を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	2	希望及び必要があれば情報を提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	12	事業所内では、スーパーバイザーが気付きき助言をしたり、話をできる機会がある	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	7	・公園に積極的に外出をしている ・他事業所との交流を行っている ・地域のイベントに参加し地域のこどもと交流が出来る機会を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	5	事業所連絡会に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	10	日々の支援内容で上手くいった支援などを保護者に報告し、ご家庭でも活用できるよう情報の共有を行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		来所時等を活用し相談があれば都度対応している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	5	事業参観を設け、保護者会をしていた	人員不足により開催を継続する事が難しい点が課題、何らかの形で保護者同士の交流できる場所を設けていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14		些細な内容でも初動対応を大切にしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14		SNSを活用している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		習慣化された行動などについても視覚支援で意思疎通を図っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	7	年に1回、地域のイベントである「ほうえいさんぼ」に参加	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1		職員とは周知・訓練を行っているが、保護者の方への周知まで至っていないかった、SNSなどを活用し周知できるように努めていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	2	医師ではなく、保護者を通じて行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	1		保護者の方への周知まで至っていないかった、SNSなどを活用し周知できるように努めていく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14				